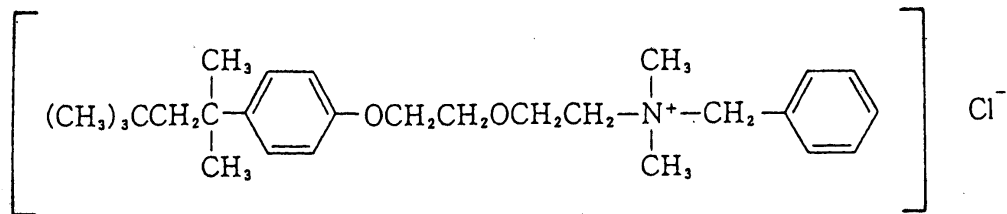


塩化ベンゼトニウムの分析

テクニカルインフォメーション No.0057 にて、局所用殺菌・消毒薬として用いられる塩化ベンザルコニウムの分離分析法を紹介しました(Separation Sciences '96, 講演要旨集 p.67 (1996))。

今回、同様な陽イオン界面活性剤で広範囲の病原菌に対して強力な殺菌作用を呈する為に、うがい薬として、又、結膜嚢洗浄・消毒に 0.02% (200ppm) の濃度で使用されている塩化ベンゼトニウムの分析法を紹介します。

下記に構造式を示します。無色または白色の結晶で、エタノールに極めて解けやすく、水にも溶けませんが、エーテルにはほとんど溶けないという性状を有しています。



塩化ベンゼトニウムの構造式

測定条件

カラム : TSKgel ODS-80Ts
(4.6mmI.D. x 15cmL)
溶離液 : エタノール/水/リン酸
= 650/350/1
流速 : 1.0 ml/min
カラム温度 : 40
サンプル濃度 : 100ppm
注入量 : 20 μL
検出 : 電気伝導度検出器(CM)
紫外可視検出器(UV254nm)
装置構成 : CM-8020, UV-8020, AS-8020,
CO-8020, SD-8022

